



安全データシート

Copyright, 2025, 3M Company. All right reserved. 本情報は、3M社の製品を適切にご使用頂くために作成したものです。複製および/またはダウンロードをする場合には、以下の条件をお守り下さい。(1) 3M社から書面による事前承認を得ることなく情報を変更したり、一部を抜粋して使用しないで下さい。(2) 本情報を営利目的で転売または配布をしないで下さい。

SDS番号	34-9443-2	版	8.00
発行日	2025/01/21	前発行日	2023/04/27

この安全データシートはJIS Z7253:2019に対応しています。

1. 化学品及び会社情報

1.1. 化学品の名称

スコッチ® 超強力接着剤プレミアゴールドスーパー多用途2 透明

1.2. 推奨用途及び使用上の制限

推奨用途

接着剤

1.3. 会社情報

供給者	スリーエム ジャパン株式会社
所在地	本社 東京都品川区北品川6-7-29
担当部門	コンシューマービジネスグループ
電話番号	042-779-2173

2. 危険有害性の要約

GHS分類

引火性液体： 区分4
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性： 区分1
皮膚腐食性/刺激性： 区分1B
皮膚感作性： 区分1
特定標的臓器毒性（反復ばく露）： 区分2
水生環境有害性 長期（慢性）： 区分3

GHSラベル要素

注意喚起語

危険

シンボル

腐食性 感嘆符 健康有害性

ピクトグラム



危険有害性情報

H227	可燃性液体
H314	重篤な皮膚の薬傷及び眼の損傷
H317	アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ
H373	長期ばく露又は反復ばく露による臓器障害のおそれ： 免疫系。
H412	長期継続的影響により水生生物に有害

注意書き

一般：

P102	子供の手の届かないところに置くこと。
P101	医学的な助言が必要なときには、製品容器やラベルをもっていくこと。

安全対策

P210A	熱、高温のもの、火花、裸火及び他の着火源から遠ざけること。禁煙。
P260	粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないこと。
P280D	保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用すること。
P264	取扱後はよく洗うこと。
P272	汚染された作業衣は作業場から出さないこと。
P273	環境への放出を避けること。

応急措置

P304 + P340	吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい状態を確保すること。
P303 + P361 + P353A	皮膚（または髪）に付着した場合：直ちに汚染された衣類をすべて脱ぐこと。皮膚を水またはシャワーで洗うこと。
P305 + P351 + P338	眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
P310	直ちに医師に連絡すること。
P333 + P313	皮膚刺激又は発しん（疹）が生じた場合：医師の診断／手当てを受けること。
P362 + P364	汚染された衣類を脱ぐこと。再利用する場合は洗うこと。
P301 + P330 + P331	飲み込んだ場合：口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。
P370 + P378G	火災の場合：消火するために 粉末消火剤または炭酸ガスなどの可燃性液体および可燃性固体用消火薬剤を使用すること。

保管

P403	換気の良い場所で保管すること。
P405	施錠して保管すること。

廃棄

P501 内容物／容器を国際，国，都道府県，市町村の規則に従って廃棄すること。

3. 組成及び成分情報

この製品は混合物です。

成分	CAS番号	重量%
変性シリコーン	営業秘密	90 - 100
3-アミノプロピルトリエトキシシラン	919-30-2	5.0
ビス(アセチルオキシ)(ジオクチル)スタンナンとテトラエトキシシランの反応生成物	93925-43-0	3.5
合成非晶質ヒュームドシリカ	112945-52-5	0.5 - 2
ケイ酸エチル	78-10-4	1.4
安定剤	営業秘密	< 1

4. 応急措置**応急措置****吸入した場合**

新鮮な空気の環境に移動させる。気分がすぐれない場合は医療機関を受診する。

皮膚に付着した場合

直ちに多量の水で15分以上洗浄する。付着した衣類は脱ぐ。直ちに医療機関を受診する。衣類は再使用する前に洗濯する。

眼に入った場合

直ちに多量の水で15分以上洗浄する。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。直ちに医療機関を受診する。

飲み込んだ場合

口をゆすぐ。気分が悪い時は医療機関を受診する。

予想できる急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状

皮膚の熱傷（局所的な発赤、腫れ、かゆみ、激しい痛み、水疱、組織破壊）。アレルギー性皮膚反応（発赤、腫脹、水疱形成及びかゆみ）。眼への深刻な損傷（角膜の曇り、激しい痛み、裂傷、潰瘍、および視力の著しい障害または喪失）。長期あるいは反復ばく露による標的臓器影響（詳細については、項目11を参照）。

応急措置を要する者の保護に必要な注意事項

適用しない。

5. 火災時の措置**消火剤**

火災の場合：消火するために 粉末消火剤または炭酸ガスなどの可燃性液体および可燃性固体用消火薬剤を使用す

ること。

使ってはならない消火剤

情報なし。

特有の危険有害性

火災の熱で密封された容器内の圧力が増し、爆発するおそれがある。

有害な分解物または副生成物

物質

一酸化炭素
二酸化炭素
刺激性蒸気あるいはガス

条件

燃焼中
燃焼中
燃焼中

消火作業者の保護

水は消火には効果的ではないが、火炎にさらされた容器を冷却して爆発を防ぐために使用する。 ヘルメット、自給式の陽圧ないし加圧式呼吸装置、バンカーコート及びズボン、腕、腰及び脚の周りのバンド、顔面マスク、及び頭部の露出部分の保護カバーを含む完全保護衣服を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急措置

区域から退避させること。 熱/火花/裸火/高温の物体などの着火源から遠ざけること。禁煙。 火花を発生させない工具を使用すること。 新鮮な空気ですその場所を換気する。 大量に漏洩した場合、あるいは狭小な場所で漏洩した場合は、安全衛生手順にしたがって、蒸気の拡散、排出のための強制換気を行う。 警告！モーターは着火源になる。漏洩個所に発生している引火性のガスや蒸気の着火源となり、燃焼・爆発を起こす可能性がある。 物理的有害性、健康有害性、呼吸保護、換気、個人防護については本SDSの他の項目を参照。

環境に対する注意事項

環境への放出を避けること。 大量の場合には、下水設備や水施設に流入すのを防止する為に、排水溝にカバーし、土手をつくる。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

アルコールやアセトンのような水溶性溶剤に適した泡消火薬剤で漏洩箇所を覆う。 ベントナイト、パーミキュライトあるいは市販の無機吸収剤を用い、漏洩物の周囲から内側に向けて覆う。漏洩箇所が乾燥するまで十分に吸収剤を混ぜ合わせる。 吸収剤を加えても物理的危険性や健康および環境影響に関する有害性を有することに留意する。 出来る限り多くの漏洩物を防爆仕様の道具を使って回収する。 密閉容器に収納する。 有資格者・専門家が選択した適切な溶剤を使用して残留物を清掃する。新鮮な空気に換気する。溶剤のラベルとSDSを参照し、安全な取り扱い方法に従う。 容器を密封する。 回収した物質は、国内外の法令や規則にしたがって、できるだけ早く廃棄する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

子供の手の届かないところに置くこと。 熱/火花/裸火/高温の物体などの着火源から遠ざけること。禁煙。 粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。 眼、皮膚、衣類につけないこと。 この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。 取扱後はよく洗うこと。 汚染された作業衣は作業場から出さないこと。 環境への放出を避けること。 汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること。 酸化剤との接触を避ける（塩素、クロム酸等）。

保管

換気の良い場所で保管すること。涼しいところに置くこと。熱から離して保管する。酸から離して保管する。酸化剤から離して保管する。

8. ばく露防止及び保護措置**管理項目****許容濃度及び管理濃度**

セクション3に表示されている成分名が、以下の表に見当たらない場合は、当該成分についての適切な作業時の許容濃度または管理濃度がないことを示している。

成分	CAS番号	政府機関	許容濃度または管理濃度	備考
ケイ酸エチル	78-10-4	ACGIH	TWA : 10 ppm	
ケイ酸エチル	78-10-4	JSOH OELs	TWA(8時間) : 85 mg/m ³ (10 ppm)	
スズ、有機化合物	93925-43-0	ACGIH	TWA (スズとして) : :0.1 mg/m ³ 、STEL (スズとして) : 0.2 mg/m ³	A4 : ヒトに対する発がん性物質として分類できない物質、皮膚吸収の危険性

ACGIH : American Conference of Governmental Industrial Hygienists

AIHA : American Industrial Hygiene Association

ISHL : 労働安全衛生法作業環境評価基準

ISHL(濃度基準値) : 労働安全衛生法厚生労働大臣が定める濃度の基準

JSOH OELs : 日本産業衛生学会許容濃度

TWA : 時間加重平均値

STEL : 短時間ばく露限界値

ppm : 百万分率

mg/m³ : ミリグラム/立方メートル

CEIL : 天井値

ばく露防止策**設備対策**

熱硬化処理を行う場合は適切な局所排気装置を使用する。空気中の有害物質をそれぞれの許容濃度以下に制御し、粉じん、フェーム、ガス、ミスト、スプレーをコントロールするためにも、一般的な希釈換気あるいは局排換気を行う。換気が適切に実施できない場合は、呼吸保護具を使用する。

保護具**眼の保護具**

ばく露評価結果に準じた眼・顔の保護具を選択・使用する。下記の眼・顔の保護具を推奨する。

全面マスク

間接式換気ゴーグル

皮膚及び身体の保護具

ばく露評価に準じた皮膚接触を防止するために、関連した法令で認められた保護手袋・保護衣を選択・使用する。

推奨される手袋の材質 : ブチルゴム

スプレーや、ハネの多い作業など、ばく露の可能性が高い場合には、つなぎ服などの保護衣を使用する。ばく露評価に基づき、適切な保護具を着用する。保護衣の材質として次のものを推奨する。ブチルゴム製エプロン

呼吸用保護具

ばく露評価によって保護マスクが必要と判断される場合には、適切なものを使用する。ばく露評価結果に基づいて以下のものから保護マスクを選択する：

半面形もしくは全面形のろ過材付き有機ガス用防毒マスク

特殊な利用に際して、マスクの適合性に疑問があれば、保護マスクのメーカーに相談する。

9. 物理的及び化学的性質

基本的な物理・化学的性質

外観	液体
物理的状态:	ペースト
色	淡黄色
臭い	無臭
臭いの閾値	データはない。
pH	データはない。
融点・凝固点	データはない。
沸点, 初留点及び沸騰範囲	適用しない
引火点	>=70 °C
蒸発速度	適用しない
引火性	引火性液体： 区分 4
燃焼点 (下限)	データはない。
燃焼点 (上限)	データはない。
蒸気圧	適用しない
相対蒸気密度	適用しない
密度	1.06 g/ml
比重	データはない。
溶解度	データはない。
溶解度 (水以外)	データはない。
n-オクタノール/水分配係数	データはない。
発火点	>=300 °C
分解温度	データはない。
動粘度	データはない。
揮発性有機化合物	データはない。
揮発分	データはない。
水と規制除外の溶剤を除いた揮発性有機化合物 (JIS-GHSの要求項目ではない)	データはない。
モル重量	適用しない

ナノパーティクル

この製品はナノパーティクルを含有する。

粒子特性	適用しない
------	-------

10. 安定性及び反応性

反応性

この物質は、特殊条件下では薬品と反応する可能性がある。このセクションの他の項目を参照する。

化学的安定性

安定。

危険有害反応の可能性

有害な重合反応は起こらない。

避けるべき条件

熱。
火花及び／ないし炎

混触危険物質

強酸
強酸化性物質

危険有害な分解物

物質	条件
知見はない。	

セクション5の燃焼中の有害な分解物を参照

11. 有害性情報

セクション2で区分表示が義務付けられている特殊な成分を含有する場合には、下記の情報と一致しない場合があります。また、成分の含有量が表示義務となる値以下の場合、成分のばく露が予想されない場合、あるいは製品全体を考慮した場合に、含有成分の毒性情報が、製品の区分、ばく露時の兆候や症状に一致しないことがあります。

毒性学的影響に関する情報

ばく露による症状

組成の試験結果や情報より、下記の健康影響が考えられる。

吸入した場合

気道刺激：咳、くしゃみ、鼻水、頭痛、鼻と喉の痛みなどの症状。

皮膚に付着した場合

皮膚薬傷（化学性腐食）：発赤、腫脹、かゆみ、痛み、水疱形成、潰瘍形成、か皮形成、癬痕形成などの症状。
皮膚過敏症のヒトにおける非光感作性アレルギー皮膚反応：発赤、腫脹、水疱形成、かゆみなどの症状。

眼に入った場合

化学物質による眼の薬傷（化学性腐蝕）：角膜のかすみ、化学熱傷、痛み、催涙、潰瘍、視力障害又は視力損失などの症状。硬化時に放出される蒸気は眼を刺激するおそれがある。症状は発赤、浮腫、痛み、涙及び眼のくもりあるいはかすみ目。

飲み込んだ場合

胃腸への刺激：腹痛、胃痛、吐き気、嘔吐、下痢などの症状。その他、以下に記載する健康影響を発現させることがある。

その他健康影響情報

長時間又は反復暴露した場合：

免疫学的影響：循環免疫細胞数の変化、アレルギー性皮膚反応、アレルギー性呼吸器反応、免疫能の変化などが含まれる。

毒性データ

セクション3に開示されている化学成分で以下に情報が無い場合は、そのエンドポイントに対して利用できるデータが無いか、分類するに十分なデータが無い場合になります。

急性毒性

名称	経路	生物種	値又は判定結果
製品全体	皮膚		利用できるデータが無い：ATEで計算。5,000 mg/kg
製品全体	吸入－蒸気 (4時間)		利用できるデータが無い：ATEで計算。50 mg/l
製品全体	経口摂取		利用できるデータが無い：ATEで計算。5,000 mg/kg
3-アミノプロピルトリエトキシシラン	皮膚	ウサギ	LD50 4,290 mg/kg
3-アミノプロピルトリエトキシシラン	経口摂取	ラット	LD50 1,570 mg/kg
ビス(アセチルオキシ)(ジオクチル)スタンナンとテトラエトキシシランの反応生成物	皮膚	ラット	LD50 > 2,000 mg/kg
ビス(アセチルオキシ)(ジオクチル)スタンナンとテトラエトキシシランの反応生成物	経口摂取	ラット	LD50 > 2,000 mg/kg
合成非晶質ヒュームドシリカ	皮膚	ウサギ	LD50 > 5,000 mg/kg
合成非晶質ヒュームドシリカ	吸入－粉塵 /ミスト(4時間)	ラット	LC50 > 0.691 mg/l
合成非晶質ヒュームドシリカ	経口摂取	ラット	LD50 > 5,110 mg/kg
ケイ酸エチル	皮膚	専門家による判断	LD50 推定値 2,000 - 5,000 mg/kg
ケイ酸エチル	吸入－粉塵 /ミスト(4時間)	ラット	LC50 10 mg/l
ケイ酸エチル	吸入－蒸気 (4時間)	ラット	LC50 17 mg/l
ケイ酸エチル	経口摂取	ラット	LD50 > 2,500 mg/kg
安定剤	皮膚	ラット	LD50 > 2,000 mg/kg
安定剤	経口摂取	ラット	LD50 > 7,000 mg/kg

ATE=推定急性毒性

皮膚腐食性/刺激性

名称	生物種	値又は判定結果
3-アミノプロピルトリエトキシシラン	ウサギ	腐食性

ビス(アセチルオキシ)(ジオクチル)スタンナンとテトラエトキシシランの反応生成物	ウサギ	わずかな刺激
合成非晶質ヒュームドシリカ	ウサギ	刺激性なし
ケイ酸エチル	ウサギ	軽度の刺激
安定剤	ウサギ	刺激性なし

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性

名称	生物種	値又は判定結果
3-アミノプロピルトリエトキシシラン	ウサギ	腐食性
ビス(アセチルオキシ)(ジオクチル)スタンナンとテトラエトキシシランの反応生成物	ウサギ	刺激性なし
合成非晶質ヒュームドシリカ	ウサギ	刺激性なし
ケイ酸エチル	ヒト	中程度の刺激
安定剤	ウサギ	刺激性なし

呼吸器感作性または皮膚感作性

皮膚感作性

名称	生物種	値又は判定結果
3-アミノプロピルトリエトキシシラン	モルモット	感作性あり
ビス(アセチルオキシ)(ジオクチル)スタンナンとテトラエトキシシランの反応生成物	マウス	区分に該当しない。
合成非晶質ヒュームドシリカ	ヒト及び動物	区分に該当しない。
ケイ酸エチル	モルモット	区分に該当しない。
安定剤	モルモット	区分に該当しない。

呼吸器感作性

セクション3に開示されている化学成分に対しては、利用できるデータが無いが、分類するに十分なデータが無い。

生殖細胞変異原性

名称	経路	値又は判定結果
ビス(アセチルオキシ)(ジオクチル)スタンナンとテトラエトキシシランの反応生成物	In vitro	変異原性なし
合成非晶質ヒュームドシリカ	In vitro	変異原性なし
ケイ酸エチル	In vitro	変異原性なし
安定剤	In vitro	変異原性なし

発がん性

名称	経路	生物種	値又は判定結果
合成非晶質ヒュームドシリカ	特段の規定はない。	マウス	陽性データはあるが、分類には不十分。
安定剤	経口摂取	ラット	陽性データはあるが、分類には不十分。

生殖毒性

生殖発生影響

名称	経路	値又は判定結果	生物種	試験結果	ばく露期間
合成非晶質ヒュームドシリカ	経口摂取	雌について生殖毒性は区分に該当しない。	ラット	NOAEL 509 mg/kg/日	1 世代
合成非晶質ヒュームドシリカ	経口摂取	雄について生殖毒性は区分に該当しない。	ラット	NOAEL 497 mg/kg/日	1 世代
合成非晶質ヒュームドシリカ	経口摂取	発生毒性区分に該当しない。	ラット	NOAEL 1,350 mg/kg/日	器官発生期
ケイ酸エチル	経口摂取	雌について生殖毒性は区分に該当しない。	ラット	NOAEL 100 mg/kg/日	授乳期早期交配
ケイ酸エチル	経口摂取	雄について生殖毒性は区分に該当しない。	ラット	NOAEL 100 mg/kg/日	28 日
ケイ酸エチル	経口摂取	発生毒性区分に該当しない。	ラット	NOAEL 100 mg/kg/日	授乳期早期交配
安定剤	経口摂取	発生毒性区分に該当しない。	ラット	NOAEL 100 mg/kg/日	器官発生期

標的臓器

特定標的臓器毒性、単回ばく露

名称	経路	標的臓器	値又は判定結果	生物種	試験結果	ばく露期間
ケイ酸エチル	吸入した場合	呼吸器への刺激	呼吸器への刺激のおそれ。	ヒト及び動物	NOAEL 入手できない	

特定標的臓器毒性、反復ばく露

名称	経路	標的臓器	値又は判定結果	生物種	試験結果	ばく露期間
ビス(アセチルオキシ)(ジオクチル)スタナンとテトラエトキシシランの反応生成物	経口摂取	免疫システム	長期あるいは反復ばく露により組織に悪影響を及ぼす。	ラット	LOAEL 10 mg/kg/day	28 日
ビス(アセチルオキシ)(ジオクチル)スタナンとテトラエトキシシランの反応生成物	経口摂取	肝臓 心臓 内分泌系 消化管 骨、歯、爪及び/又は毛髪 造血器系 筋肉 神経系 眼 腎臓および膀胱 呼吸器系	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 100 mg/kg/day	28 日
合成非晶質ヒュームドシリカ	吸入した場合	呼吸器系 珪肺症	区分に該当しない。	ヒト	NOAEL 入手できない	職業性被ばく
ケイ酸エチル	吸入した場合	腎臓および膀胱 呼吸器系	区分に該当しない。	マウス	NOAEL 0.43 mg/l	28 日
ケイ酸エチル	吸入した場合	内分泌系 造血器系 肝臓 免疫システム 眼	区分に該当しない。	マウス	NOAEL 0.85 mg/l	28 日
ケイ酸エチル	経口摂取	腎臓および膀胱	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 10 mg/kg/day	28 日
ケイ酸エチル	経口摂取	造血器系 神経系	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 100 mg/kg/day	28 日
安定剤	経口摂取	腎臓および膀胱	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 110 mg/kg/day	90 日
安定剤	経口摂取	内分泌系	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 1,000 mg/kg/day	90 日
安定剤	経口摂取	肝臓	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 100 mg/kg/day	24 月
安定剤	経口摂取	造血器系	区分に該当しない。	サル	NOAEL 1,000 mg/kg/day	28 日

誤えん有害性

セクション3に開示されている化学成分に対しては、利用できるデータが無いが、分類するに十分なデータが無い。

製品及び成分に関する追加の毒性情報が必要な場合には、本SDSの1ページに記載した住所、電話番号にご連絡ください。

12. 環境影響情報

セクション2で区分表示が義務付けられている特殊な成分を含有する場合には、下記の情報と一致しないことがあります。セクション2の分類に関する追加情報が必要な場合は、弊社にお問い合わせください。また、成分の環境中での運命及び有害性は、成分の含有が表示義務となる値以下の場合、成分のばく露が予想されない場合、あるいは製品全体を考慮した場合に、この項の内容と一致しないことがあります。

生態毒性

水生環境有害性 短期（急性）

GHS分類では水生生物への急性毒性はない。

水生環境有害性 長期（慢性）

GHS水生環境有害性 長期（慢性）区分3：長期継続的影響によって水生生物に有害。

製品での試験データは無い。

材料	CAS番号	生物種	種類	ばく露	テストエンドポイント	試験結果
合成非晶質ヒュームドシリカ	112945-52-5	緑藻類	類似コンパウンド	72 時間	ErC50	>173.1 mg/l
合成非晶質ヒュームドシリカ	112945-52-5	底生生物	類似コンパウンド	96 時間	EC50	8,500 mg/kg（乾燥重量）
合成非晶質ヒュームドシリカ	112945-52-5	ミジンコ	類似コンパウンド	24 時間	EL50	>10,000 mg/l
合成非晶質ヒュームドシリカ	112945-52-5	ゼブラフィッシュ	類似コンパウンド	96 時間	LL50	>10,000 mg/l
合成非晶質ヒュームドシリカ	112945-52-5	緑藻類	類似コンパウンド	72 時間	NOEC	173.1 mg/l
合成非晶質ヒュームドシリカ	112945-52-5	ミジンコ	類似コンパウンド	21 日	NOEC	68 mg/l
合成非晶質ヒュームドシリカ	112945-52-5	液状化	実験	3 時間	EC50	>1,000 mg/l
安定剤	営業秘密	ブルーギル	エンドポイントに達しな	96 時間	LC50	>100 mg/l

			い。			
安定剤	営業秘密	緑藻類	実験	72 時間	水への溶解限界において毒性は見られない	>100 mg/l
安定剤	営業秘密	ミジンコ	実験	48 時間	水への溶解限界において毒性は見られない	>100 mg/l
安定剤	営業秘密	ファットヘッドミノウ(魚)	実験	32 日	NOEC	0.0088 mg/l
安定剤	営業秘密	緑藻類	実験	72 時間	水への溶解限界において毒性は見られない	>100 mg/l
安定剤	営業秘密	ミジンコ	実験	21 日	NOEC	0.0055 mg/l
安定剤	営業秘密	液状化	実験	3 時間	IC50	>100 mg/l
安定剤	営業秘密	シマミミズ	実験	56 日	NOEC	1,000 mg/kg (乾燥重量)
3-アミノプロピルトリエトキシシラン	919-30-2	バクテリア	実験	5.75 時間	EC50	43 mg/l
3-アミノプロピルトリエトキシシラン	919-30-2	緑藻類	実験	72 時間	EC50	603 mg/l
3-アミノプロピルトリエトキシシラン	919-30-2	無脊椎動物	実験	48 時間	LC50	580 mg/l
3-アミノプロピルトリエトキシシラン	919-30-2	ミジンコ	実験	48 時間	EC50	331 mg/l
3-アミノプロピルトリエトキシシラン	919-30-2	ゼブラフィッシュ	実験	96 時間	LC50	>934 mg/l
3-アミノプロピルトリエトキシシラン	919-30-2	緑藻類	実験	72 時間	NOEC	1.3 mg/l
ケイ酸エチル	78-10-4	液状化	実験	3 時間	EC50	>100 mg/l
ケイ酸エチル	78-10-4	緑藻類	実験	72 時間	ErC50	>100 mg/l
ケイ酸エチル	78-10-4	ミジンコ	実験	48 時間	EC50	>100 mg/l
ケイ酸エチル	78-10-4	ゼブラフィッシュ	実験	96 時間	LC50	>245 mg/l
ケイ酸エチル	78-10-4	緑藻類	実験	72 時間	NOEC	100 mg/l
ビス(アセチルオキシ)(ジオクチル)スタンナンとテ	93925-43-0	鯉	実験	96 時間	水への溶解限界において毒性は見られない	>100 mg/l

トラエトキシシランの反応生成物						
ビス(アセチルオキシ)(ジオクチル)スタンナンとトラエトキシシランの反応生成物	93925-43-0	緑藻類	実験	72 時間	水への溶解限界において毒性は見られない	>100 mg/l
ビス(アセチルオキシ)(ジオクチル)スタンナンとトラエトキシシランの反応生成物	93925-43-0	ミジンコ	実験	48 時間	水への溶解限界において毒性は見られない	>100 mg/l
ビス(アセチルオキシ)(ジオクチル)スタンナンとトラエトキシシランの反応生成物	93925-43-0	緑藻類	実験	72 時間	水への溶解限界において毒性は見られない	100 mg/l
ビス(アセチルオキシ)(ジオクチル)スタンナンとトラエトキシシランの反応生成物	93925-43-0	液状化	実験	3 時間	EC50	>1,000 mg/l

残留性・分解性

材料	CAS番号	試験の種類	期間	試験の種類	試験結果	プロトコル
合成非晶質ヒュームドシリカ	112945-52-5	データ不足	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし
安定剤	営業秘密	実験 生分解性	28 日	二酸化炭素の発生	8 CO2発生量/理論CO2発生量%	OECD 301B - 修正シユツルム試験又は二酸化炭素
安定剤	営業秘密	実験 加水分解		加水分解性半減期 (pH7)	>1 年 (t 1/2)	OECD 111 pHに応じた加水分解
3-アミノプロピルトリエトキシシラン	919-30-2	実験 生分解性	28 日	生物学的酸素要求量	54 %BOD/ThOD	OECD 301C-MITI (1)
3-アミノプロピルトリエトキシシラン	919-30-2	推定値 光分解		光分解半減期 (空气中)	7.28 時間 (t 1/2)	

3-アミノプロピルトリエトキシシラン	919-30-2	実験 加水分解		加水分解性半減期	8.5 時間 (t 1/2)	
ケイ酸エチル	78-10-4	実験 生分解性	28 日	DOC (溶存有機炭素) 残留量	98 DOC除去%	EC C. 4. A. DOC Die-Away試験
ケイ酸エチル	78-10-4	実験 加水分解		加水分解性半減期 (pH7)	4.4 時間 (t 1/2)	OECD 111 pHに応じた加水分解
ビス(アセチルオキシ)(ジオクチル)スタナンとテトラエトキシシランの反応生成物	93925-43-0	実験 生分解性	29 日	二酸化炭素の発生	12 CO2発生量/理論CO2発生量%	OECD 301B - 修正シユツルム試験又は二酸化炭素
ビス(アセチルオキシ)(ジオクチル)スタナンとテトラエトキシシランの反応生成物	93925-43-0	加水分解物生分解性	28 日	生物学的酸素要求量	2 %BOD/ThOD	OECD 301F

生体蓄積性

材料	CAS番号	試験の種類	期間	試験の種類	試験結果	プロトコル
合成非晶質ヒュームドシリカ	112945-52-5	分類にデータが利用できない、あるいは不足している。	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし
安定剤	営業秘密	実験 BCF - 魚	56 日	生物濃縮係数	8.0	OECD305-生体濃縮度試験
安定剤	営業秘密	実験 生態濃縮		オクタノール/水 分配係数	4.7	OECD 117、log Kow (オクタノール/水分配係数)、高速液体クロマトグラフィー
3-アミノプロピルトリエトキシシラン	919-30-2	実験 BCF - 魚	56 日	生物濃縮係数	<3.4	OECD305-生体濃縮度試験
ケイ酸エチル	78-10-4	実験 生態濃縮		オクタノール/水 分配係数	3.18	EC A. 8 分配係数
ビス(アセチルオキシ)(ジオクチル)スタナンとテトラエトキシシランの反応	93925-43-0	分類にデータが利用できない、あるいは不足している。	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし

生成物						
-----	--	--	--	--	--	--

土壌中の移動性

データはない。

オゾン層への有害性

データはない。

13. 廃棄上の注意

廃棄方法

関係法令に従って、産業廃棄物として自社で処分するか産業廃棄物処理業者に委託して処分する。

14. 輸送上の注意

国連番号及び品名： 1760 その他の腐食性物質(液体)(他の危険性を有しないもの)

輸送分類 (IMO) : 8 腐食性物質

輸送分類 (IATA) : 8 腐食性物質

容器等級 : II

国内規制がある場合の規制情報

取り扱い及び保管上の注意の項の記載による他、消防法などの法令の定めるところに従う。

15. 適用法令

国内法規制及び関連情報

日本国内法規制 (主な適用法令)

労働安全衛生法：危険性又は有害性等を調査(リスクアセスメント)すべき物 (法第 57 条の 3)

労働安全衛生法：皮膚等障害化学物質 (安衛則第594条の2第1項) ; 皮膚等障害化学物質を含有するため不浸透性保護具を使用すること

労働安全衛生法：施行令 18 条の 2 名称等を通知すべき有害物

労働安全衛生法：施行令 18 条有害物質 (表示物質)

消防法：第四類第三石油類

化管法：第 1 種指定化学物質

船舶安全法、航空法：腐しよく性物質

主な法規制物質

労働安全衛生法：通知・リスクアセスメント・表示義務対象物質

成分	法律又は政令名称	2025年3月31日迄	2025年4月1日以降 2026年3月31日迄	2026年4月1日以降
3-アミノプロピルトリエトキシシラン	3-アミノプロピルトリエトキシシラン	適用しない	該当	該当

ケイ酸エチル	テトラエトキシシラン	該当	該当	該当
ビス(アセチルオキシ)(ジオクチル)スタンナンとテトラエトキシシランの反応生成物	すず及びその化合物	該当	該当	該当

化管法

成分	政令名称	管理番号	区分
ビス(アセチルオキシ)(ジオクチル)スタンナンとテトラエトキシシランの反応生成物	有機スズ化合物	664	第1種指定化学物質

16. その他の情報

改訂情報

セクション15：労働安全衛生法の表「2025年4月1日以降2026年3月31日迄」情報の追加.

セクション15：労働安全衛生法の表「2026年4月1日以降」情報の追加.

セクション1：製品名 情報修正.

セクション2：環境影響ステートメント 情報の追加.

セクション2：GHS分類 情報修正.

セクション2：健康有害性 情報の追加.

セクション2：物理化学的危険性のステートメント 情報修正.

セクション2：絵表示 情報修正.

セクション2：注意書き - 安全対策 情報修正.

セクション2：注意書き - 応急措置 情報修正.

セクション2：注意書き - 保管 情報修正.

セクション2：注意喚起語 情報修正.

セクション2：シンボル 情報修正.

セクション3：成分表 情報修正.

項目4：応急措置 - 症状及び影響 情報修正.

セクション4：応急措置(眼に入った場合)の情報 情報修正.

セクション4：応急措置(皮膚の接触した場合)の情報 情報修正.

セクション5：燃焼時有害性の表 情報修正.

セクション6：事故漏出時の清掃 情報修正.

セクション7：貯蔵情報 情報修正.

セクション7：取り扱い時の安全注意喚起情報 情報修正.

セクション8：眼の保護具 情報の削除.

セクション8：眼および顔面保護 情報の追加.

セクション8：作業環境許容値 情報修正.

セクション8：OEL登録機関の説明 情報修正.

セクション8：保護具 - 眼 情報の追加.

セクション8：保護具 - 皮膚/体幹 情報の追加.

セクション8：保護具 - 皮膚/手 情報修正.

セクション8：呼吸器保護 - 推奨する呼吸保護具の情報 情報修正.

セクション8：皮膚保護 - 保護衣情報 情報の追加.

セクション8：皮膚保護 - 推奨する手袋情報 情報修正.

セクション9：発火点情報 情報修正.

セクション9：色 情報修正.

セクション9：燃焼性（固体、ガス）情報 情報の削除。
セクション9：引火性情報 情報の追加。
セクション9：引火点情報 情報修正。
セクション9：動粘度情報 情報の追加。
セクション9：ナノパーティクル 情報修正。
セクション9：粒子特性 適用しない 情報の追加。
セクション9：比重情報 情報修正。
セクション9：溶解性（水以外） 情報の追加。
セクション9：溶解性（水以外）のテキスト 情報の削除。
セクション9：水溶解性 情報の削除。
セクション9：水溶解性値 情報の追加。
セクション9：蒸気密度/相対蒸気密度 情報修正。
セクション9：粘度 情報の削除。
セクション10：避けるべき条件 情報修正。
セクション10：有害な分解物の表 情報修正。
セクション10：避けるべき物質 情報修正。
セクション11：急性毒性の表 情報修正。
セクション11：発がん性の表 情報修正。
セクション11：生殖胞変異原性の表 情報修正。
セクション11：健康影響情報（眼） 情報修正。
セクション11：健康影響情報（飲み込んだ場合） 情報修正。
セクション11：健康影響情報（皮膚） 情報修正。
セクション11：生殖毒性の表 情報修正。
セクション11：重篤な眼へのダメージ/刺激の表 情報修正。
セクション11：皮膚腐食性/刺激性の表 情報修正。
セクション11：皮膚感作性の表 情報修正。
セクション11：標的臓器 - 反復ばく露の表 情報修正。
セクション11：標的臓器 - 単回ばく露の表 情報修正。
セクション12：水生生物への慢性毒性情報 情報修正。
セクション12：成分生態毒性情報 情報修正。
セクション12：残留性および分解性の情報 情報修正。
セクション12：生態濃縮性情報 情報修正。
セクション14：容器等級グループの標準フレーズ 情報の追加。
セクション14：輸送上の注意の標準フレーズ 情報修正。
セクション14：IATA分類の標準フレーズ 情報の追加。
セクション14：IMO分類の見出し標準フレーズ 情報の追加。
セクション14：国連番号の標準フレーズ 情報の追加。
セクション15：労働安全衛生法の表 情報修正。
セクション15：化管法の表 情報修正。
セクション15：適用法規のステートメント 情報修正。

免責事項：この安全データシート（SDS）の情報は、発行時における当社の知見に基づき正確であると考えていますが、当社は、その使用から生じる損失、損害または傷害に関する賠償責任を引き受けるものではありません。

（法令で要求される場合を除く）本SDSの記載内容は、記載されている範囲外の使用、あるいは他の物質と組み合わせでの使用では効力を持ちません。これらの理由から、お客様がご自身の用途に製品が適合しているかどうかをご自身で評価することが重要です。加えて、本安全データシートは安全衛生情報もお伝えしております。日本国へ本製品を輸入されるお客様は、製品の登録・届出、物質量の監視、想定される物質の登録・届出を含む（これらに限定されるものではありません）適用される全ての法的要求について責任を負います。

3MジャパングループのSDSは日本のウェブサイトから入手できます。